

# 第3学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日(土) 3時間目

3年 1組

児童数 30名

授業者 木川 直子

- 1 主題名 「誰に対しても公平に」(内容項目：公正、公平、社会正義 C 主として集団や社会との関わりに関すること)
- 2 資料名 「みさきさんのえがお」(東京書籍 あたらしい どうとく)
- 3 ねらい 分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする態度を育てる。
- 4 授業の流れ

	◆学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆公正、公平とは何かについて発表する。</p> <p>○公正、公平とはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも仲良くすること。</li> <li>・誰とでも遊ぶこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の価値項目について考えさせることで、公正、公平、社会正義をより意識して活動に取り組みさせる。</li> </ul>
展開	<p>◆資料「みさきさんのえがお」を読んで話し合う。</p> <p>○みさきさんに「つぎ、かしてね。」と言われたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり仕事をやろう。</li> <li>・みさきさんにたのまれてうれしい。</li> </ul> <p>◎すぐに返事ができなかったのは、「ぼく」がどんなことを考えていたからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しゅんやさんに嫌われたくない。</li> <li>・黙っていれば、分からないだろう。</li> <li>・みさきさんの方が先だから、先にかさないと。</li> </ul> <p>○みさきさんの笑顔を見て、「ぼく」がうれしくなったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと本を渡せたから。</li> <li>・図書係の仕事をしっかりできたから。</li> <li>・みさきさんに貸してよかったと思えたから。</li> <li>・笑顔を見れて、嬉しい気持ちになるから。</li> </ul> <p>◆今までの自分を振り返る。</p> <p>○あなたは、誰に対しても分け隔てしないで、公平にしようとしていますか。また、公平であるためにはどんな心構えが必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも遊ぶことを意識する。</li> <li>・誰にでも同じように声を掛ける。</li> <li>・いつもみんなと仲良くして、平等にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が話を十分に理解できるよう、抑揚や間の取り方を工夫して範読する。</li> <li>・発問への理解を深めるために、発問に登場する人の絵や発問の言葉を提示する。</li> <li>・すぐに返事ができなかった理由を対比的に板書する。</li> <li>☆誰にでも公正、公平な態度でいることの大切さや難しさについて考えることができていたか。</li> <li>・みさきさんに貸すことにしたのはどうしてか話し合うようにする。</li> <li>・「公平」という言葉について、板書などを利用して具体的に説明する。</li> <li>・心構えとは、「これからやっていきたいこと」「気を付けていくこと」であることを説明する。</li> <li>☆これまでの自分を見つめ、自己の生き方についての考えを深めることができたか。</li> </ul>
終末	<p>◆教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活などで公正、公平な態度が見られた場面を紹介する。</li> </ul>

# 第3学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日(土) 3時間目

3年 2組

児童数 31名

授業者 黒川 晃文

1 主題名 「誰に対しても公平に」(内容項目:公正、公平、社会正義 C 主として集団や社会との関わりに関すること)

2 資料名 「みさきさんのえがお」(東京書籍 あたらしい どうとく)

3 ねらい 分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする態度を育てる。

## 4 授業の流れ

	◆学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆公正、公平とは何かについて発表する。</p> <p>○公正、公平とはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に対しても言葉をかける。</li> <li>・誰とでも遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の価値項目について考えさせることで、公正、公平、社会正義をより意識して活動に取り組ませる。</li> </ul>
展開	<p>◆資料「みさきさんのえがお」を読んで話し合う。</p> <p>○みさきさんに「つぎ、かしてね。」と言われたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり仕事をやろう。</li> <li>・ちゃんと名前をかいておかなくっちゃ。</li> </ul> <p>◎すぐに返事ができなかつたのは、「ぼく」がどんなことを考えていたからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嫌われたくない。</li> <li>・黙っていれば、分からないだろう。</li> <li>・みさきさんが、すこしかわいそう。</li> </ul> <p>○みさきさんの笑顔を見て、「ぼく」がうれしくなつたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちゃんと本を渡せたから。</li> <li>・図書係の仕事をしっかりできたから。</li> <li>・みさきさんに貸すことができたから。</li> <li>・笑顔を見れて、嬉しい気持ちになるから。</li> </ul> <p>◆今までの自分を振り返る。</p> <p>○あなたは、誰に対しても分け隔てしないで、公平にしようとしていますか。また、公平であるためにはどんな心構えが必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも遊ぶことを意識する。</li> <li>・順番通りに物を配っている。</li> <li>・いつもみんなと仲良くして、平等にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が話を十分に理解できるよう、抑揚や間の取り方を工夫して範読する。</li> <li>・発問への理解を深めるために、発問に登場する人の絵や発問の言葉を提示する。</li> <li>・すぐに返事ができなかつた理由を対比的に板書する。</li> <li>☆誰にでも公正、公平な態度でいることの大切さや難しさについて考えることができていたか。</li> <li>・みさきさんに貸すことにしたのはどうしてか話し合うようにする。</li> <li>・「公平」という言葉について、板書などを利用して具体的に説明する。</li> <li>・心構えとは、「これからやっていきたいこと」「気を付けていくこと」であることを説明する。</li> <li>☆これまでの自分を見つめ、自己の生き方についての考えを深めることができたか。</li> </ul>
終末	<p>◆教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活などで公正、公平な態度が見られた場面を紹介する。</li> </ul>

# 第3学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日(土) 3時間目

3年 3組

児童数 30名

授業者 高田 裕子

1 主題名 「誰に対しても公平に」(内容項目:公正、公平、社会正義 C 主として集団や社会との関わりに関すること)

2 資料名 「みさきさんのえがお」(東京書籍 あたらしい どうとく)

3 ねらい 分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする態度を育てる。

## 4 授業の流れ

	◆学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆公正、公平とは何かについて発表する。</p> <p>○公正、公平とはどんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に対しても同じように接する。</li> <li>・誰とでも遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の価値項目について考えさせることで、公正、公平、社会正義をより意識して活動に取り組みさせる。</li> </ul>
展開	<p>◆資料「みさきさんのえがお」を読んで話し合う。</p> <p>○みさきさんに「つぎ、かしてね。」と言われたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く貸してあげたいな。</li> <li>・ちゃんと名前を書いておこう。</li> </ul> <p>◎すぐに返事ができなかったのは、「ぼく」がどんなことを考えていたからでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しゅんやさんに嫌われたくない。</li> <li>・黙っていれば、ばれないだろう。</li> <li>・みさきさんが、すこしかわいそう。</li> </ul> <p>○みさきさんの笑顔を見て、「ぼく」がうれしくなったのはどうしてでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書係の仕事をしっかりできたから。</li> <li>・みさきさんに貸すことができ、喜んでくれたから。</li> <li>・正しいことができたから。</li> </ul> <p>◆今までの自分を振り返る。</p> <p>○あなたは、誰に対しても分け隔てしないで、公平にしようとしていますか。また、公平であるためにはどんな心構えが必要だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも遊ぶ。</li> <li>・順番通りに物を配っている。</li> <li>・いつもみんなと仲良くして、平等にする。</li> <li>・給食の量を人によって変えないで、平等にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が話を十分に理解できるよう、抑揚や間の取り方を工夫して範読する。</li> <li>・発問への理解を深めるために、発問に登場する人の絵や発問の言葉を提示する。</li> <li>・すぐに返事ができなかった理由を対比的に板書する。</li> <li>☆誰にでも公正、公平な態度でいることの大切さや難しさについて考えることができていたか。</li> <li>・みさきさんに貸すことにしたのはどうしてか話し合うようにする。</li> <li>・「公平」という言葉について、板書などを利用して具体的に説明する。</li> <li>・心構えとは、「これからやっていきたいこと」「気を付けていくこと」であることを説明する。</li> <li>☆これまでの自分を見つめ、自己の生き方についての考えを深めることができたか。</li> </ul>
終末	<p>◆教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活などで公正、公平な態度が見られた場面を紹介する。</li> </ul>